

坂井市文化財保存活用地域計画作成業務に係る  
公募型プロポーザル審査結果報告書

令和元年 6 月

坂井市文化財保存活用地域計画作成業務に係る  
公募型プロポーザル審査委員会

## 1 審査方法

坂井市文化財保存活用地域計画作成業務に係る公募型プロポーザル審査委員会において、総合評価を行い、最優秀提案者及び次点者を選定した。

## 2 プロポーザルの経過

- 1) プロポーザル実施の公告 平成31年4月23日(火)
- 2) 参加表明書等の提出期限 令和元年5月16日(木)  
提出者：3者
- 3) 企画提案書等の提出期限 令和元年5月31日(金)  
提出者：3者
- 4) 審査委員会 令和元年6月10日(月)
  - ・企画提案書等提出者3者によるプレゼンテーション(各20分)、  
質疑応答(各15分)
  - ・審査基準に基づく審査、総合評価
  - ・最優秀提案者及び次点者の選定

## 3 審査委員会委員

No.	役職	項目	所属	氏名
1	委員	学識経験者	花園大学文学部教授	高橋 克壽
2	委員	有識者	坂井市文化協会会長	陶山 治男
3	委員	有識者	丸岡観光ボランティアガイド	大濃 節子
4	委員	市職員	坂井市教育委員会教育長	川元 利夫
5	委員	市職員	坂井市政策監	加藤 浩

## 4 審査の基準

1. 業務実績・実施体制及び地域計画に関する提案(100点)
  - ① 実施体制
  - ② 実績・知見・専門性
  - ③ 業務に対する取り組み姿勢
  - ④ 坂井市の歴史文化に関する認識

⑤ 提案内容の的確性、実現性、独創性

⑥ 市民参加を含む全体スケジュール

⑦ 見積書

## 2. プレゼンテーション及びヒアリング審査（100点）

### 5 審査結果

No.	1者目	2者目	3者目
得点	612点	815点	647点
順位		1位	2位

### 6 最優秀提案者及び次点者

最優秀提案者 一般社団法人アーバンデザインセンター坂井  
代表理事 片岡 誠治

選定理由 坂井市の文化財や地域の文化資源についてよく把握された上での提案であった。提案者自身のこれまでの活動から、市民と協働で計画を作り上げていく過程について、地域密着型で具体的な取組の提案がなされたこと、さらに、リスト作成で終わるのではなく、未指定の調査継続の必要性など、高い理念を持って業務に取り組む姿勢が評価された。実行性の担保が今後の課題であるが、各地域のニーズを引き出しながら、観光面にも十分留意した計画が作成されることを期待する。

次点者 株式会社田中地質コンサルタント  
代表取締役 田中 謙次

選定理由 「坂井家ミュージアム」と銘うった特色ある提案であり、プレゼンテーションでの説明も分かりやすかったと評価を得た。しかし、計画を作成した後の展開が課題である点、古墳調査はレーザー計測だけでは歴史の流れが掴めない、といった懸念などが指摘され、次点となった。

7 終わりに

今後、本計画作成業務の委託契約が締結され、令和3年度の計画策定に向けて事業が進んでいくこととなる。文化財保存活用地域計画には、観光部分の反映が重要であるとともに、作成過程において、地元と一緒に作り上げていくというシステムが機能することが必要である。

人口減少が進む中であって、坂井市では、総合計画の下、地域の文化資源の位置づけを見直し、文化財の保存と活用を一体的に進めていくことになる。

九頭竜川が結ぶ福井平野と日本海によって育まれた歴史と文化、そして東尋坊に代表される貴重な自然を備えた坂井独自の「地域計画作成事業」に取り組むことで、文化財の保存活用に対する市民の認識が高まり、観光、景観保全、社会教育など多面的な内容に展開していくことを祈念する。

最後に、本プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やして真摯に努力いただいた参加者各位に心からお礼を申し上げるとともに、審査に多大なるご協力とご尽力をいただいた審査委員各位に深く感謝を申し上げ、報告とする。

令和元年6月

坂井市文化財保存活用地域計画作成業務に係る  
公募型プロポーザル審査委員会  
委員長 高橋 克壽